

**平成22年度
EPA介護福祉士候補者
受入れ施設巡回訪問実施結果
(概要)**

平成22年度EPA介護福祉士候補者 受入れ施設巡回訪問

調査方法等

- 調査方法 社団法人国際厚生事業団職員がEPA候補者の受入れ施設を訪問し、候補者や研修担当者等に面談のうえ、職場・生活適応状況や候補者の学習状況等を確認。
- 実施時期 平成22年5月10日～平成23年1月24日
- 受入れ施設 202施設
〔平成20年度入国候補者のみの受入れ施設 33施設
平成21年度入国候補者のみの受入れ施設 150施設
平成20、21年度入国候補者の受入れ施設 19施設〕
- 候補者 463人
〔平成20年度入国インドネシア人候補者 99人
平成21年度入国インドネシア人候補者 188人
平成21年度入国フィリピン人候補者 176人〕

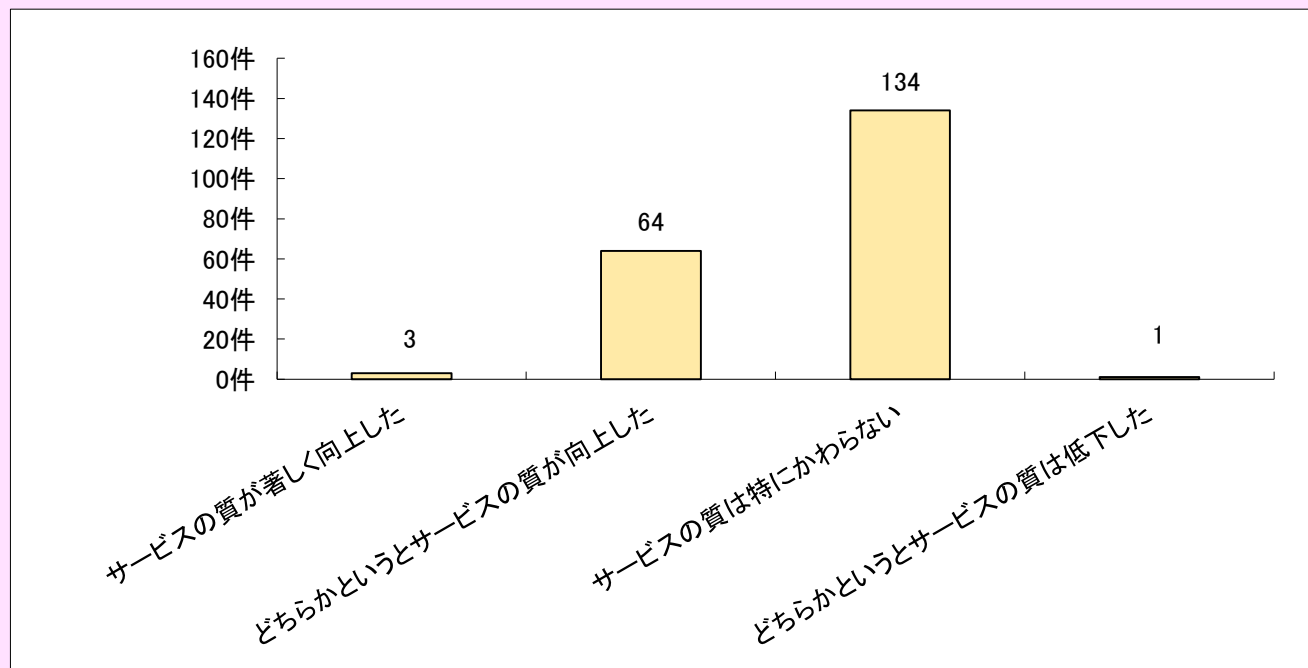
※ 平成23年度の巡回訪問の実施結果については、現在集計中。

候補者の受入れによる施設への影響について

○受入れ責任者・担当者への質問

【施設が提供するサービスの質への影響について】

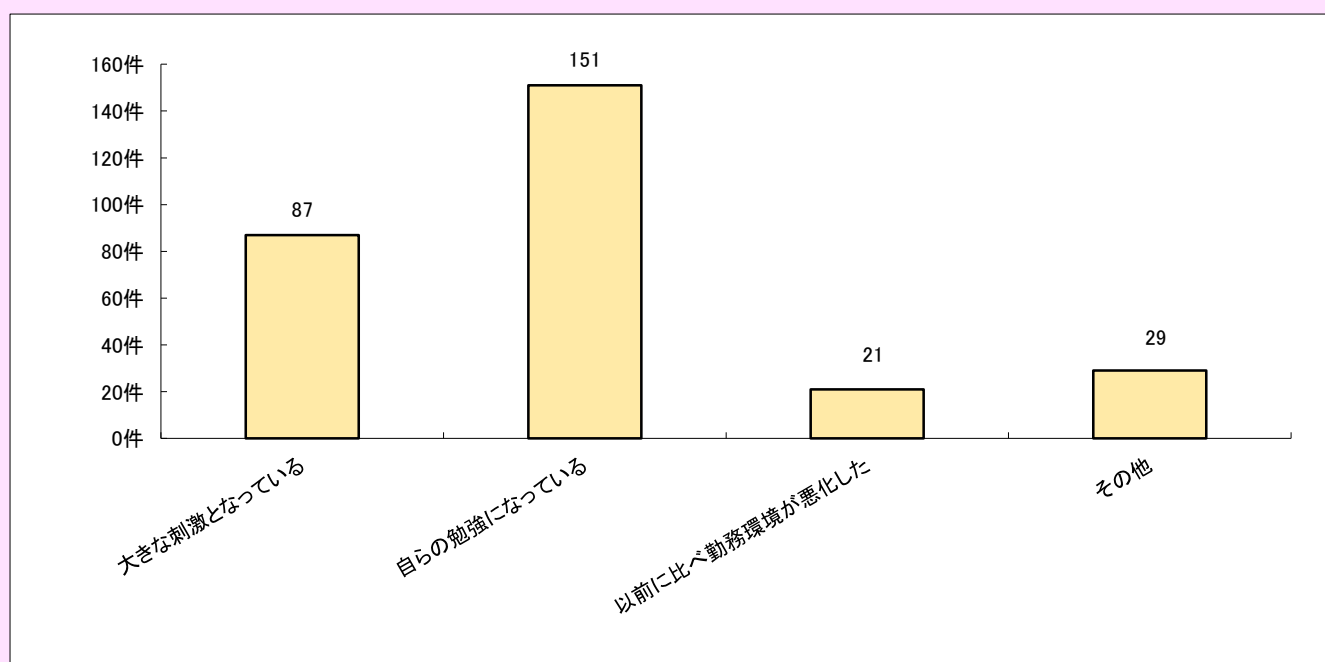
施設が提供するサービスの質への影響について質問したところ、「サービスの質は特にかわらない」という回答が134件、「どちらかというサービスの質が向上した」という回答が64件、「サービスの質が著しく向上した」という回答が3件、「どちらかというサービスの質は低下した」という回答が1件あった。



○受入れ責任者・担当者への質問

【日本人職員への影響について】

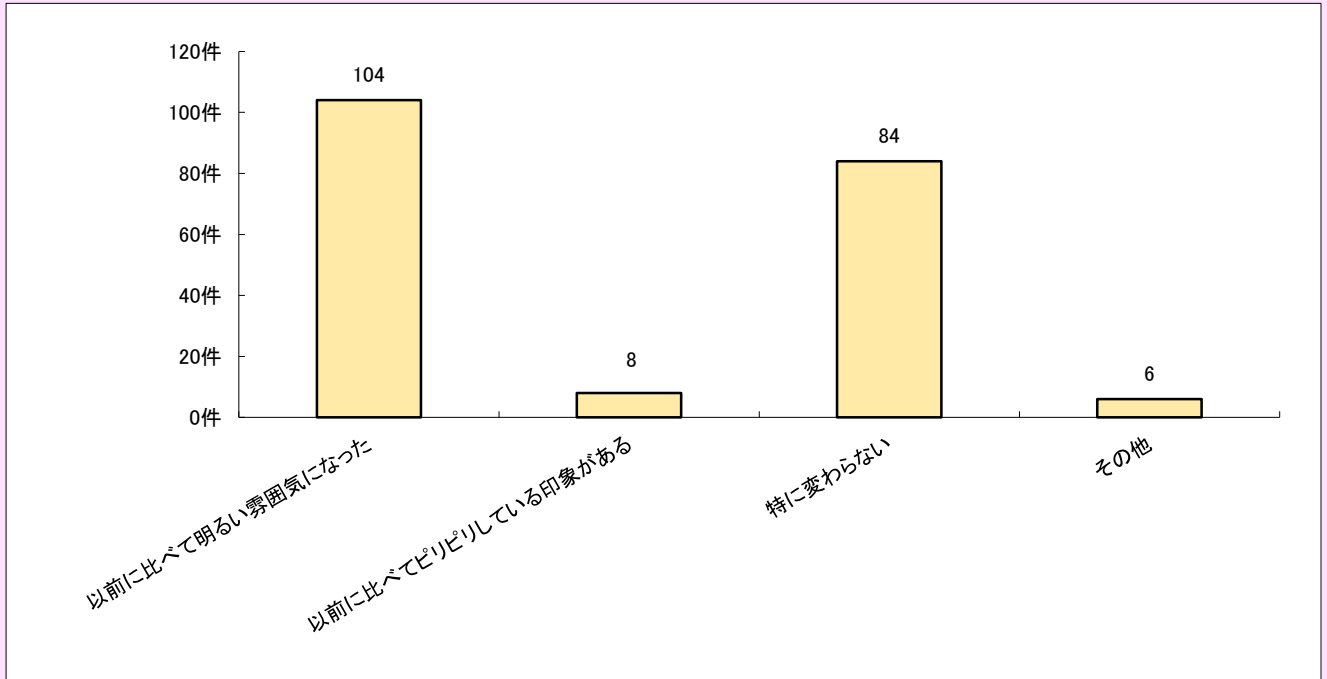
日本人職員への影響について質問したところ、候補者への指導を通じて「自らの勉強になっている」という回答が151件、「大きな刺激となっている」という回答が87件、候補者のフォローや教育等により「受入れ以前に比べ勤務環境が悪化した」という回答が21件、「その他」の回答29件あった。



○受入れ責任者・担当者への質問

【職場環境への影響について】

職場環境への影響について質問したところ、候補者がいることで「以前に比べて明るい雰囲気になった」という回答が104件、「特に変わらない」という回答が84件、候補者の対応に気を使い「以前に比べてピリピリしている」という回答が8件、「その他」の回答が6件あった。

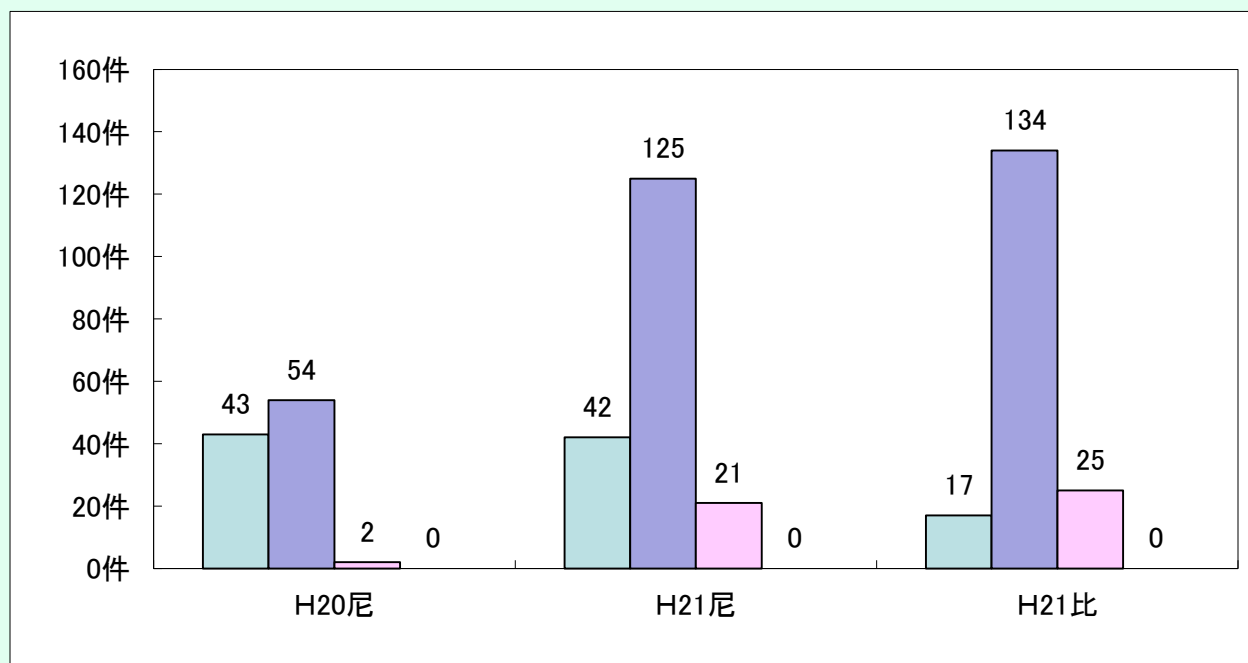


候補者のコミュニケーションについて

○研修責任者への質問

【候補者のコミュニケーションについて】

候補者のコミュニケーションについて質問したところ、「時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる」という回答が多かった(平成20年度インドネシア人候補者については、54件。平成21年度インドネシア人候補者については、125件。平成21年度フィリピン人候補者については、134件)。

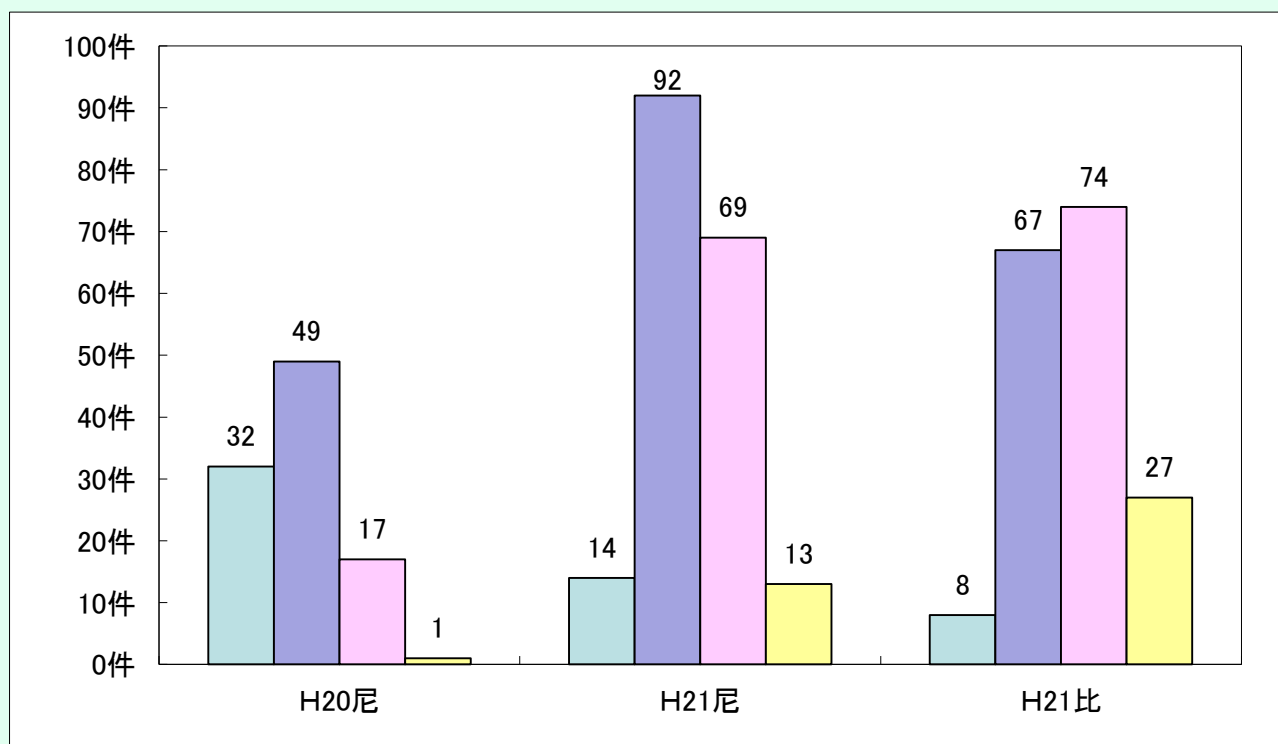


	H20尼	H21尼	H21比
特に問題なく意思疎通ができる。	43 (43%)	42 (22%)	17 (10%)
時々話が通じないときはあるが、ゆっくり話せば概ね伝わる。	54 (55%)	125 (66%)	134 (76%)
挨拶や簡単な会話程度であれば、何とか伝わる。	2 (2%)	21 (11%)	25 (14%)
意思疎通が全くできない。	0	0	0

○研修責任者への質問への質問

【引き継ぎ・申し送りの実施状況について】

引き継ぎ・申し送りの実施状況について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる」という回答が多かった(49件)、また、平成21年度インドネシア人候補者についても、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる」という回答が多かった(92件)。平成21年度フィリピン人候補者については、「日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引継ぎ・申し送りに一部支障がある」という回答が多かった(74件)。

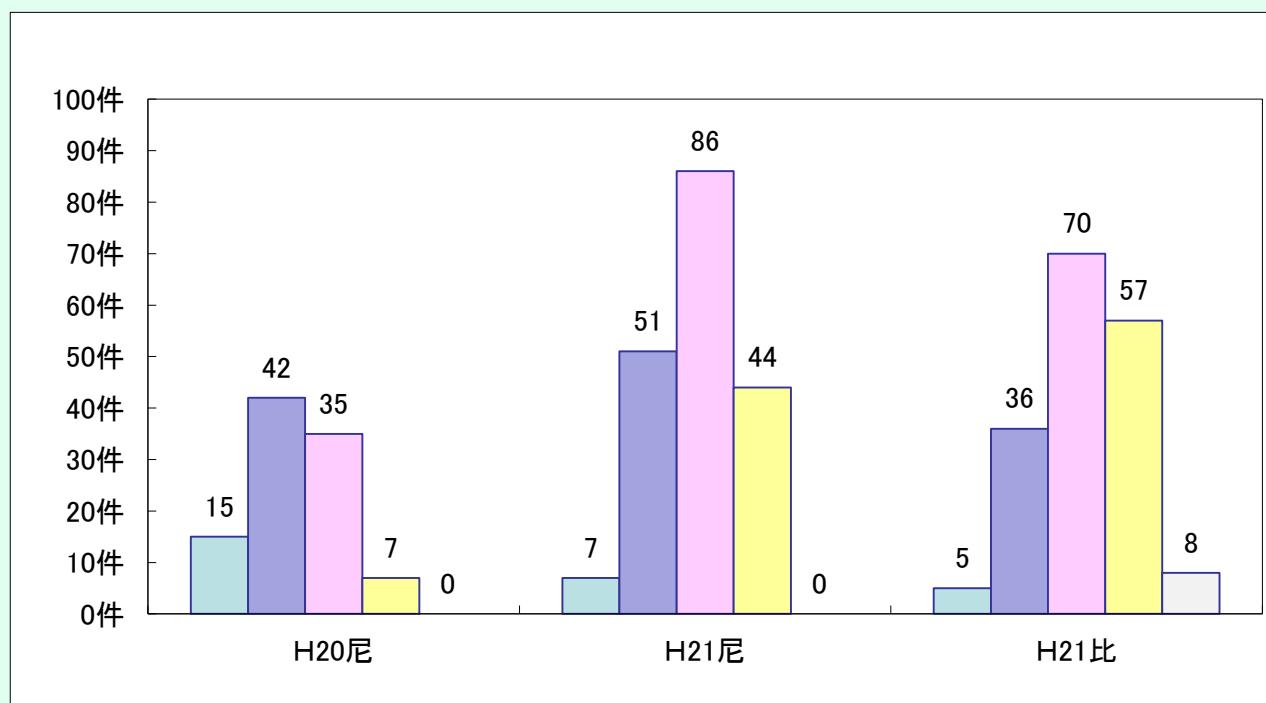


	H20尼	H21尼	H21比
問題なく実施できている。	32 (32%)	14 (7%)	8 (5%)
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をすれば、何とか実施できる。	49 (49%)	92 (49%)	67 (38%)
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引継ぎ・申し送りに一部支障がある。	17 (17%)	69 (37%)	74 (42%)
日本人職員が平易な言葉でゆっくり話をしても、引き継ぎ・申し送りはほとんどできない。	1 (1%)	13 (7%)	27 (15%)

○研修責任者への質問

【業務マニュアルや日誌、介護記録等の記載内容に関する理解について】

業務マニュアルや日誌、介護記録等の記載内容に関する理解について質問したところ、平成20年度インドネシア人候補者については、「一部理解できていない部分があるようだが、概ね理解できている」という回答が多かった(42件)。平成21年度インドネシア人候補者については、「半分程度理解している」という回答が多かった(86件)。平成21年度フィリピン人候補者については、「半分程度理解している」という回答が多かった(70件)。

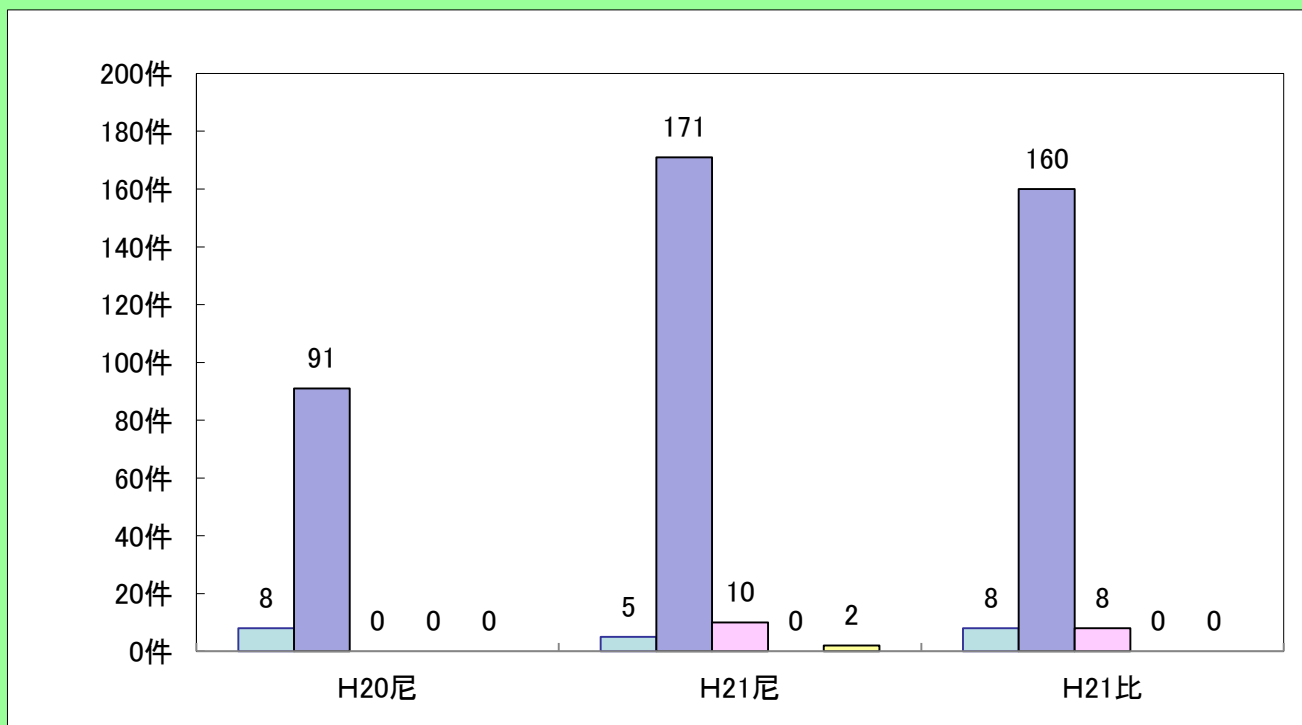


	H20尼	H21尼	H21比
問題なく理解できている。	15 (15%)	7 (4%)	5 (3%)
一部理解できていない部分があるようだが、概ね理解できている。	42 (42%)	51 (27%)	36 (20%)
半分程度理解している。	35 (35%)	86 (46%)	70 (40%)
ほとんど理解できていない。	7 (7%)	44 (23%)	57 (32%)
未回答	0	0	8 (5%)

○候補者への質問

【利用者とのコミュニケーションについて】

利用者とのコミュニケーションについて質問したところ、「だいたい理解できているが、時々分からないことがある」という回答が、平成20年度インドネシア人候補者については91件、平成21年度インドネシア人候補者については171件、平成21年度フィリピン人候補者については160件あった。

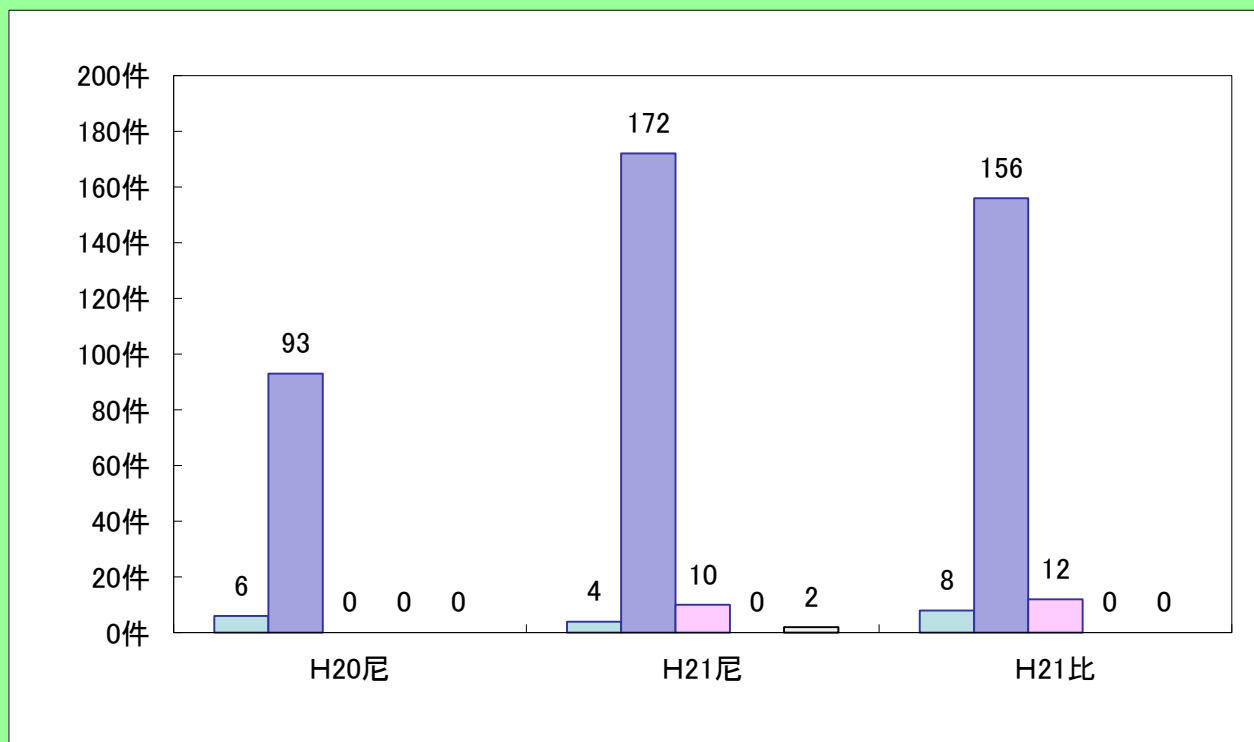


	H20尼	H21尼	H21比
十分に理解できている	8 (8%)	5 (3%)	8 (5%)
だいたい理解できているが、時々分からないことがある	91 (92%)	171 (91%)	160 (91%)
たまに理解できるが、ほとんど分からない	0	10 (5%)	8 (5%)
全く理解できない	0	0	0
未回答	0	2 (1%)	0

○候補者への質問

【日本人介護スタッフとのコミュニケーションについて】

日本人介護スタッフとのコミュニケーションについて質問したところ、「だいたい理解できているが、時々分からないことがある」という回答が、平成20年度インドネシア人候補者については93件、平成21年度インドネシア人候補者については172件、平成21年度フィリピン人候補者については156件あった。



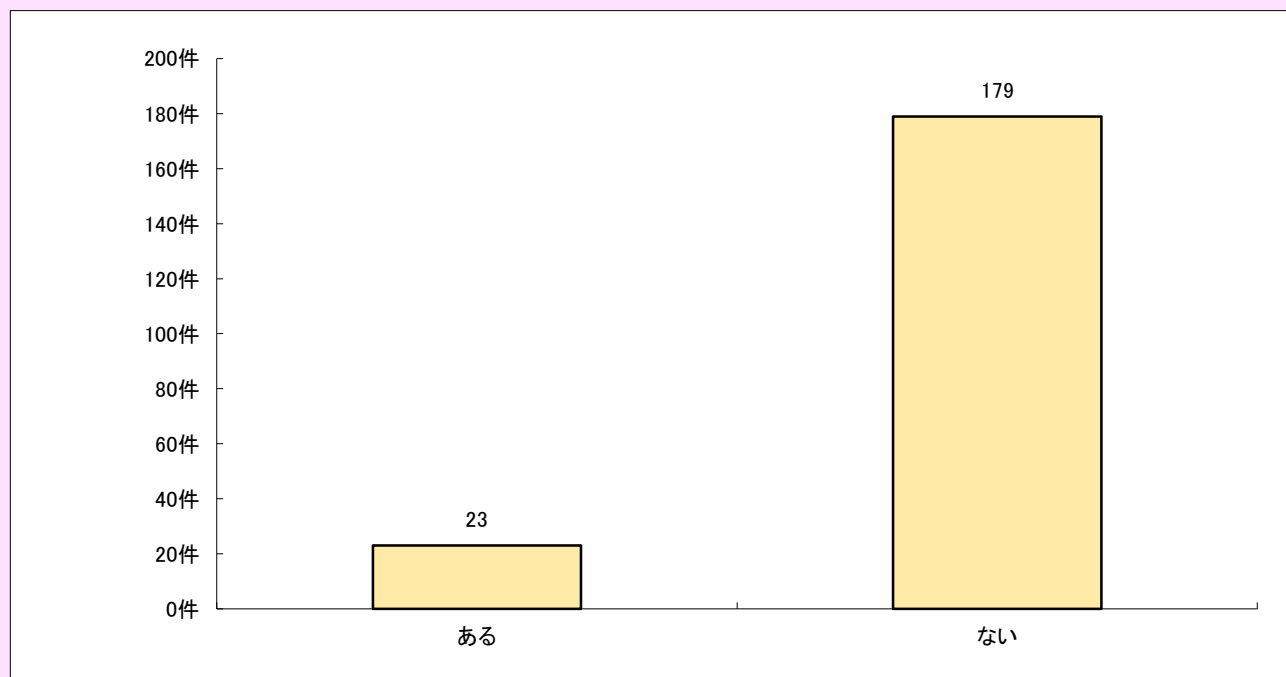
	H20尼	H21尼	H21比
十分に理解できている	6 (6%)	4 (2%)	8 (5%)
だいたい理解できているが、時々分からないことがある	93 (94%)	172 (91%)	156 (87%)
たまに理解できるが、ほとんど分からない	0	10 (5%)	12 (7%)
全く理解できない。	0	0	0
未回答	0	2 (1%)	0

候補者が行う業務について

○受入れ責任者・担当者への質問

【候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無について】

候補者が行う業務に関連した事故や問題の有無について質問したところ、「ある」という回答が23件、「ない」という回答が179件となっている。「ある」と回答した23件について事故や問題の詳細を質問したところ、申し送り内容を正確に理解できない等によるコミュニケーションに関連する事故や問題が7件、介護サービスに関連した事故や問題が13件、その他の事故や問題が3件報告された。



[コミュニケーションに関連する事故や問題の具体例]

状況	対策
日本人職員からの申し送りや指示がちゃんと理解できていないのに「分かりました」と答え、申し送りどおりにできていないことが多い。誤薬もあった。	他の職員と付き添って業務を行うようにしている。
細かい意思の疎通がなされず、些細なミスがある	今後、コミュニケーションを深めるように努力する。
利用者からの依頼が十分に理解できないこと	最初の頃あったが、現在はほとんどない。
利用者からの苦情(頼んだことをしてくれない等)・理解しないまま返事をしてしまったため(赴任当初)	当初は、日本語レベルが成熟していないために起こっていたが、最近は改善された。
申し送りが行き届かず、(候補者が携わったこと)日にちにずれがあり、便秘の内服がミスをしそうになった(コミュニケーション認識の違い)未然防止。	候補者や職員が話し合い、候補者が分からないことは確認するように、徹底した。
申し送りの内容を理解していないことがあり、体調不良等で離床中止になっている利用者を離床している等がみられた。	担当している部屋から候補者を別の部屋に移す対応した。
声かけ不足や入所者が怒っていることに対応できないため益々怒らせたことがある。「日本語が十分にできない部分がある」ことを伝えると入所者はあきらめる。	候補者の日本語能力も向上し、現在は改善されつつあるようだ。

候補者の学習状況について

○研修責任者への質問

【候補者の週当たりの日本語の学習回数、学習時間について】

候補者の週当たりの日本語の学習回数、学習時間について質問したところ、平均で、平成20年度インドネシア人候補者については、学習回数は1.2回、学習時間は4.5時間、平成21年度インドネシア人候補者については、学習回数は3.2回、学習時間は6.2時間、平成21年度フィリピン人候補者については、学習回数2.9回、学習時間は5.5時間となっている。

〈日本語学習の学習回数、学習時間(平均)〉

	H20尼	H21尼	H21比	平均
回数	週1.2回	週3.2回	週2.9回	週2.8回
勤務時間内	週2.8時間	週5.1時間	週4.4時間	週4.3時間
勤務時間外	週1.7時間	週1.1時間	週1.1時間	週1.3時間
合計	週4.5時間	週6.2時間	週5.5時間	週5.6時間

(注)学習回数が0については、国家試験の学習と日本語学習を分けられず、国家試験学習・日本語学習のどちらかにまとめて回答した施設があるため。

○研修責任者への質問への質問

【候補者の週当たりの国家試験の学習回数、学習時間について】

候補者の週当たりの国家試験の学習回数、学習時間について質問したところ、平均で、平成20年度インドネシア人候補者については、学習回数は2.5回、学習時間は5.7時間、平成21年度インドネシア人候補者については、学習回数は2.5回、学習時間は4.5時間、平成21年度フィリピン人候補者については、学習回数は2.2回、学習時間は4.3時間となっている。

〈国家試験対策の学習回数、学習時間(平均)〉

	H20尼	H21尼	H21比	平均
回数	週2.5回	週2.5回	週2.2回	週2.4回
勤務時間内	週3.9時間	週3.7時間	週3.1時間	週3.5時間
勤務時間外	週1.8時間	週0.8時間	週1.2時間	週1.1時間
合計	週5.7時間	週4.5時間	週4.3時間	週4.7時間

(注)学習回数が0については、国家試験の学習と日本語学習を分けられず、国家試験学習・日本語学習のどちらかにまとめて回答した施設があるため。